

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告により行ないます。 http://www.palemo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

但し、旧株式会社鈴丹の株主様が特別口座に関するご照会をされる場合は、
下記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 0120-232-711 (通話料無料)

株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎ 0120-782-031

株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

上場株式等の配当等に係る10% (所得税7%、住民税3%) 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率
(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%
(所得税15%、住民税5%)となりました。
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興
特別所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手
続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先まで
ご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用され
ていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友
信託銀行株式会社(旧株式会社鈴丹の株主様は三菱UFJ信託銀行
株式会社に)口座(特別口座といえます。)を開設しております。

愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成20年2月15日
登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

PALEMO CO.,LTD.

第30期 報告書
[2014.2.21.～2015.2.20.]



～ Doing it ～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために

経営体制の改善を果たし、新しいパレモを創生してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第30期報告書をお届けするにあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。

このたび代表取締役社長に就任いたしました、吉田馨でございます。微力ではございますが、社業の発展に邁進してまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

この第30期におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策を背景に円安・株高傾向が継続する中、景気回復への期待が高まりました。一方で、実質GDPの伸びが4月～9月まで連続で前年同期比マイナスとなるなど、消費税増税後の消費マインドの低下が鮮明となり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社が属する専門店業界は、少子高齢化の進行に伴い、ヤングマーケットの縮小や大人化へのシフトが顕在化しており、ライフスタイル提案型の新業態等が相次いで開発される一方で、実質賃金の低下により消費者の節約志向も根強く残る中、引き続き円安によるコスト上昇の影響を受けるなど、厳しい環境で推移しました。

このような環境の中、当社は経営体制の改善改革をテーマに、事業基盤の再構築ならびに、基幹事業の収益回復に向けたMD(マーチャンダイジング)変革および、販売サービス変革に取り組むとともに、メンバーズカード会員等の顧客化についても推し進めてまいりました。また、不採算店舗閉店による赤字額の削減ならびに営業費の低減について取り組む一方、今後の成長を期待する「木糸土」「Hare no hi」および「illusie300」の育成

にも取り組んでまいりました。しかしながら、これらの諸施策にもかかわらず、既存店売上高の減収が大きく影響し、第30期におきましては2期連続の営業損失という厳しい結果となり、更に資産除去債務の見直しおよび共用資産等による減損損失などの特別損失を計上し、多額の当期純損失計上のやむなきに至りました。

この結果、期末配当金につきましては、当初1株当たり3円と発表しておりましたが、誠に遺憾ながら無配に修正させていただくこととしました。

株主の皆様には、このような結果になりましたこと、誠に申し訳なくお詫び申し上げます次第であります。

第31期におきましては、2期連続での営業損失という厳しい結果を厳粛に受け止め、引き続き経営体制の改善、黒字化に向け社員一丸となり、「基幹事業の収益回復」をはじめ、「不採算店舗閉店による赤字額削減ならびに営業費の削減」等の諸施策を実行してまいります。

そして、役員はじめ社員一同、業績の回復に向け専心努力いたしますとともに、企業の社会的使命を重視いたしまして、企業統治ならびにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご高配を賜りますよう心よりごお願い申し上げます。

代表取締役社長 **吉田 馨**

指針

正しい経営

安定成長

ローコスト経営

人財経営



Q1 当期の業績についてお聞かせ下さい。

当期の業績は、売上高318億75百万円(前年同期比87.8%)、営業損失6億79百万円(前期営業損失4億79百万円)、経常損失6億19百万円(前期経常損失4億33百万円)となりました。

売上高におきましては、4月の消費税増税後の郊外市況の低迷から、上半期の既存店売上高前年同期比が88.5%となり、秋以降においてもアパレル事業全般においてシーズン主力商品の販売が伸び悩み、通期の既存店売上高前年同期比は90.9%に終わり、大幅な減収となりました。

利益面におきましては、商品鮮度改善に向けた在庫コントロールの適正化に努め、下半期には売上総利益率は前年同期比で0.6%の改善ができましたが、通期では円安に伴う原価高騰に加え、消費税増税後の販売不振による値下販売の増加が影響し、前年同期比で△0.2%となりました。また、店舗賃料低減やローコストプロジェクトへの取り組みなど、営業費の低減に努めてまいりましたが、売上高の落ち込みが大きく、営業経費率は前年同期に比べ0.6%増加し、2期連続での営業損失となりました。当期純利益につきましては、共用資産等の減損損失ならびに、資産除去債務の見直しに伴う減損損失等もあり、特別損

失として12億98百万円を計上したことなどにより、21億46百万円の損失(前期当期純損失22億54百万円)となりました。

当期は、経営体制の改善、増収増益基盤の再構築に向け、「事業基盤の再構築」「基幹事業の収益回復」「不採算店舗閉店による赤字額削減ならびに営業費の削減」などに取り組まれました。当社の収益基盤である「GAL FIT」「suzutan」「Re-J」「Siebelet」を4つの事業部として人材も含め集中強化する体制とし、郊外立地における客層などのマーケット変化に対応すべく、品揃えの変更ならびに、商品鮮度改善を目的とした在庫低減などのMD(マーチャンダイジング)変革に取り組まれました。また、顧客化に向けたメンバーズカード会員の獲得や、販売サービスレベルの向上においても教育機会を増やすなど、積極的に取り組むとともに、店舗の出退店におきましては、新規出店は14店舗にとどめ、不採算店舗を中心に94店舗の閉店を断行し、営業費の削減に繋げてまいりました。

以上のように、当期は規模の拡大よりも、再び成長を目指す基盤の確立に注力し、下半期においては、在庫低減ならびに、ローコスト化が進捗しましたが、主力事業の収益力回復に向けた取り組みに課題が残りました。



Q2 新社長としての抱負と今期の施策について お聞かせ下さい。

株主の皆様におかれましては、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。厳しい環境下での代表取締役社長の就任にあたりまして、その重責に身の引き締まる思いでございます。

当社を取り巻く専門店業界は激変の時代を迎えておりますが、今の当社に求められているのは、その時代の変化への対応力、スピードであると考えています。まずは、一日も早く経営体質の改善を果たし、増収増益基盤を確立すべく、様々な変革を断行してまいります。また、経営者として今後の時代の変化を的確に読み取り、30年間当社が培ってきた現場の活力を最大限引き出し、次世代への成長へと導いていきます

よう、専心努力する所存でございます。

そして、可能な限り早期の復配を果たし、株主の皆様への期待に応えられますよう、役員および社員一同、一致団結して経営に邁進してまいりますので、引き続きご高配賜りますよう心よりお願い申し上げます。

今期の施策としましては、引き続き基幹事業の収益回復に向け、現在推し進めているMD変革とサービス変革を主力の4事業部を中心に能動的かつスピーディに実行してまいります。また、ローコスト体質をより確実なものにする為に、不採算店舗の閉店ならびに、販管費の一層の削減を進めてまいります。そして、「木糸土」「Hare no hi」「illusie300」といった今後の成長ブランドの育成にも尽力しながら、「永続的安定成長」に向けた基盤の再構築を目指してまいります。

アパレル事業ブランド別の状況

D:ディビジョン (単位:店舗)				
	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
ギャルフィット事業部	2	44	3	232
リシェリエ	0	1	5	31
ドスチ	0	5	1	31
ギャルフィット他	2	38	△3	170
スズタン事業部	1	29	△7	141
リジェイ事業部	2	8	4	63
リメディオD	0	2	△2	18
アパレル事業合計	5	83	△2	454

雑貨事業ブランド別の状況

D:ディビジョン (単位:店舗)				
	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
シーベレット事業部	1	6	△5	97
イルーシー300D	0	2	6	46
インセンスD	2	1	0	32
木糸土・ハレノヒD	6	1	3	32
雑貨事業合計	9	10	4	207
複合店	0	1	△2	39
合計	14	94	0	700

注：複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

事業概況

Business summary

PALEMO

アパレル事業の概況

アパレル事業におきましては、店舗基盤変革を進める中でマーケット変化に合わせ、主力ブランドの「RecHerie」や大きいサイズの「Re-J」へのブランド転換を進めるとともに、「GAL FIT」「suzutan」といった郊外主力ブランドにおきましても、独自性を追求すべくMD変革を進めております。

ギャルフィット事業部



GAL FIT

「フェミニン&キュート」をコンセプトに、今年らしいベーシックアイテムと旬トレンドファッションをバランス良くMIXした等身大のスタイリングを提案します。

リシェリエ



Recherie

フェミニンな大人のカジュアルスタイルを、今年らしいベーシックアイテムで提案します。

スズタン事業部



suzutan

「エレガンス&フェミニン」をコンセプトに最新のファッションと着まわしのきくベーシックアイテムをスタイリングで提案します。

リジェイ事業部



Re-J

ヤングレディースのラージサイズブランド。トレンドとベーシックをバランス良く取り揃え、いつも新しいファッションを着まわしのきくコーディネートで提案します。

雑貨事業の概況

雑貨事業におきましては、「木糸土」「Hare no hi」を新規に6店舗出店し、ブランド転換も含め8店舗増加となりました。「illusie300」におきましても、アパレルからのブランド転換も含めまして4店舗増加するなど、今後もライフスタイル提案型ブランドの育成強化を中心に取り組んでまいります。

シーベレット事業部



Siebelet

毎日を楽しみさせる、トータル提案型雑貨SHOPです。親子でワクワク楽しく過ごせる空間を提案します。

イルーシー300ディビジョン



illusie300

家で過ごす時間を大切にしたい女性に、「RELAX and HAPPY☆」をテーマに300円でライフスタイルを提案します。

インセンスディビジョン



INCENSE

「MY BAGを探し楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

木糸土・ハレノヒディビジョン



木糸土 木・糸・土の素材を活かし、「無理なく無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

Hare no hi モノが溢れる現代で、ひとつひとつの身の回り品に、シンプルで手作りの温もりを求める大人の女性に、雑貨とアパレルでライフスタイルを提案します。

貸借対照表 (単位:百万円)

	当事業年度 (平成27年2月20日現在)	前事業年度 (平成26年2月20日現在)
■資産の部		
流動資産	5,240	5,645
固定資産	7,462	9,533
有形固定資産	1,046	1,608
無形固定資産	0	217
投資その他の資産	6,414	7,707
資産合計	12,702	15,179
■負債の部		
流動負債	6,623	7,367
固定負債	3,747	3,236
負債合計	10,371	10,604
■純資産の部		
株主資本	2,331	4,575
資本金	1,229	1,229
資本剰余金	1,433	1,433
利益剰余金	△329	1,913
自己株式	△2	△1
純資産合計	2,331	4,575
負債及び純資産合計	12,702	15,179

キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当事業年度 [平成26年2月21日から 平成27年2月20日まで]	前事業年度 [平成25年2月21日から 平成26年2月20日まで]
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	39	△658
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	203	△506
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296	1,079
現金及び現金同等物の増減額	△53	△85
現金及び現金同等物の期首残高	309	395
現金及び現金同等物の期末残高	256	309

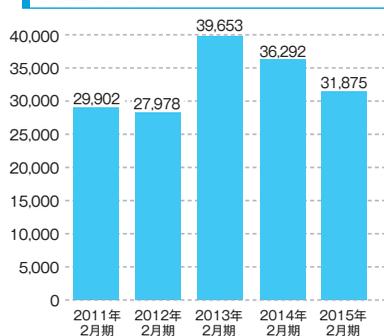
損益計算書 (単位:百万円)

	当事業年度 [平成26年2月21日から 平成27年2月20日まで]	前事業年度 [平成25年2月21日から 平成26年2月20日まで]
売上高	31,875	36,292
売上原価	14,639	16,597
売上総利益	17,235	19,695
① 販売費及び一般管理費	17,915	20,175
営業損失	△679	△479
営業外収益	81	76
営業外費用	21	29
経常損失	△619	△433
特別利益	11	0
② 特別損失	1,298	293
税引前当期純損失	△1,906	△726
法人税、住民税及び事業税	206	212
法人税等調整額	32	1,316
当期純損失	△2,146	△2,254

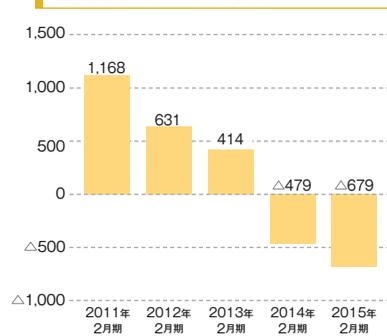
POINT

- 販売費及び一般管理費は、179億15百万円となり、前事業年度末に比べて22億00百万円減少しました。主な要因は、不採算店舗閉店による赤字額削減及び営業費の低減を進めたことによるものです。
- 特別損失は、12億98百万円となり、前事業年度末に比べて10億5百万円増加しました。主な要因は、減損損失12億42百万円の計上等によるものです。
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、39百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が4億40百万円減少したことによるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、2億3百万円となりました。主な要因は、不採算店舗閉店等による保証金の回収10億99百万円の計上等によるものです。

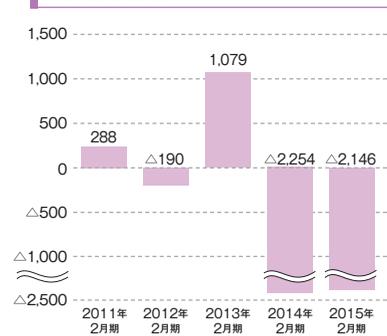
売上高 (百万円)



営業利益 (損失) (百万円)



当期純利益 (損失) (百万円)



注:2012年2月21日(2013年2月期)に株式会社鈴丹と合併。

会社概要 (2015年2月20日現在)

社名 株式会社 パレモ
 設立 1984年11月22日
 資本金 12億2,925万円
 本社所在地 〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
 事業所 パレモ東京 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12番20号 日本橋T&Dビル4階
 パレモ大阪事務所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目7番19号 第7新大阪ビル 8階
 従業員数 3,305名 (ナショナル社員199名、エリア社員他3,106名)
 事業内容 レディースアパレル、バラエティ雑貨、バッグの専門店チェーン
 ホームページ <http://www.palemo.co.jp/>

役員 (2015年5月14日現在)

代表取締役社長 吉田 馨
 取締役会長 藤田 敏
 常務取締役 永井 隆司
 取締役 江里口 直
 取締役 越田 次郎
 取締役 永田 昭夫
 常勤監査役 黛 龍二
 監査役 伊藤 章
 監査役 中村 弘

注:取締役のうち、永田昭夫氏は社外取締役であります。
 監査役のうち、伊藤章、中村弘の両氏は社外監査役であります。

株式情報 (2015年2月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	8,906名

大株主 (2015年2月20日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ユニグループ・ホールディングス株式会社	7,271	60.33
パレモ従業員持株会	244	2.02
個人株主A	189	1.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	130	1.07
岩間商事株式会社	52	0.43
サンラリー株式会社	50	0.41
個人株主B	40	0.33
個人株主C	36	0.29
個人株主D	35	0.29
個人株主E	35	0.29

株主構成 (2015年2月20日現在)

